

平成28年度 学校関係者評価書

いさがわ幼稚園

トムソーヤスポーツクラブ代表 犬塚 嘉一様

幼稚園での積極的な取り組みとして、身体のふれあい→「暖かさ」「重さ」「力の強弱」「やわらかさ」などの共感体験と心のふれあい→「うれしさ」「戸惑い」「安心感」「達成感」などの共感体験ができています。評価である。体と心のふれあい活動の豊富な体験は仲間づくりの基盤。

子どもは自分の体についても情報で知らないことが多くあり、幼児期に克服できなくても、自分の体のことをわかっていれば、その後の体力向上にいい影響を及ぼす。ただし、「劣等感」や「苦手意識」を芽生えさせてしまっては意味がない。今の状態をそのまま認めながら、設定保育での体育指導の専門的な指導と教職員と子どもたちの情報を共有し日常保育の中での経験をより積重ねていくということが大切である。

ひとつひとつの動き（投げかけ）に対して、子どもの声を聞き入れ（受け止め）ながら、進める。掛け合いの「間合い」「タイミング」「表情の作り方」などは教職員で互いに質の向上に努めて頂きたい。

子どもたちの運動メゾットも変わりつつあるので、専門的な指導を共有しながら、教職員は幼児期特性の「未分化」な体を「分化」へと導くことで、幼児期の重要とされる「神経系の発達」を促すプログラムを新たに提供してほしい。

いさがわ幼稚園椿の会会長 熊木康人様

園に入ると子どもたちの方から、進んで「おはようございます」と元気に挨拶してくれました。

大変良い習慣がついているので、指導を大事にしていきたい。保護者アンケートを見ると、園側の努力や改善点がうまく保護者に伝わっていないように感じます。保護者と現場の先生との交流点を増やしたり、園からの手紙を見やすく工夫するなどされてはどうかと思います。

いさがわ幼稚園椿の会副会長 無漏田志野様

園が掲げる目標を達成するため、取り組むべき内容を考え、実践し、適当に評価されています。

近年、ホームページでこれまであまり見られなかった普段の園の様子を知ることができ、保護者としてはうれしく思います。

保育者から、特別なことがなくても「今日は〇〇をしました」という報告だけでもお迎えの際に頂けると、子どもとの話もしやすくなりありがたいです。

感染症については、保育者がしっかりと知識を持って感染がひろがらないよう適切な処置をしていただけよう これからも研修に励んでいただきたいです。

小川町自治会長 伊谷建仁様

いさがわ幼稚園の先生方や関係者の方が一所懸命に頑張っておられるのがよくわかります。子どもが園に来て、よい方向に変わったなあと父母、祖父母が感じられるようになるとよいと思います。

園は、安全に配慮し、子どもたちに何事もないよう頑張ってください。